



青い窓  
あめ  
あめがふつたら  
ほつほつぱつ  
みんなわらつて  
たのしいな  
おしゃべりするのも  
たのしいな  
あした  
あしたは  
はれるかな  
あしたは  
きゅうしょく  
なにかな  
あしたは  
げんき  
いちに  
すこそうね  
出会いとわかれ  
三年四組 大官見尚登  
出会いがあれば  
わかれがある  
出会いはある  
わかれはない  
わかれがあつても  
だいらなしなん  
わかれた人も友だちだ  
だから わかれても  
だいらなしなん  
友

● 今回は浦添市沢崎小学校のお友達です。

## 編集後記



広報委員長 翁長孝枝・山内勝美

**活動報告**

▲2014年2月28日 琉球新報  
大村卓也さん招き  
ソロプチミスト沖縄が行なう県内大学生への奨学金支給や、子どもの貧困問題解決に取り組む団体への寄付などに充てられる。20日、沖縄タイムス社を訪れた国際ソロプチミスト沖縄の宮崎直子会長=写真前列中央=は「笑いで人生は生き生きてして若返る。笑顔でいる人の人生さんの話を聞いてほしい」と呼び掛けた。入会料は、前売2千円。問い合わせは国際ソロプチミスト沖縄、電話098(869)9871(火曜、木曜のみ)。

▲2014年2月24日 沖縄タイムス  
ソロプチミスト沖縄が行なう県内大学生への奨学金支給や、子どもの貧困問題解決に取り組む団体への寄付などに充てられる。20日、沖縄タイムス社を訪れた国際ソロプチミスト沖縄の宮崎直子会長=写真前列中央=は「笑いで人生は生き生きてして若返る。笑顔でいる人の人生さんの話を聞いてほしい」と呼び掛けた。入会料は、前売2千円。問い合わせは国際ソロプチミスト沖縄、電話098(869)9871(火曜、木曜のみ)。

▲2014年2月28日 琉球新報  
ハーリー鐘とともに梅雨も明けそうですね。S-I沖縄会員の方々での活動は、まさに心強い限りです。快く記事や写真をお寄せください。また皆さまに心より感謝申しあげます。

青い窓を飾つてくださった沢崎小学校のよい子の皆さま、仲間公の先生方に心よりお礼申し上げます。

学校給食を中心とした各種施設の団体給食を提供する株式会社オーディア(浦添市・普天間)が、創立30周年記念式典を兼ねた謝恩忘年会が昨年12月13日、那覇市のマリエールオーパビルで開かれました。

2014年オキナワグラフ2月号

国際ソロプチミストは(私たちは)、管理職、専門職に就いている女性の世界的組織で、人権と女性の地位を高める奉仕活動をしています。世界125の国と地域に3,000以上のクラブがあり、約9万人の会員が女性のために変化をもたらす奉仕活動を行っています。



**SOROPTIMIST**  
Best for Women

\*ロゴマークがかわきました。女性と女児をサポートする団体のイメージを表しています。

■発行  
2014年6月

■発行所  
国際ソロプチミスト沖縄  
〒900-0015  
那覇市久茂地2-10-20-301号  
TEL (098) 869-9871  
FAX (098) 943-0349  
ホームページ  
<http://www.soroptimist-okinawa.org/>

■発行責任者  
喜場 崇子



## 国際ソロプチミストアメリカ 日本南リジョン 第28回 熊本大会

4月17日~18日、熊本県で開催された大会には、沖縄から29名の会員が参加しました。

今年の重点課題は、「地域社会と世界中で女性と女児の生活を向上させる」を掲げ、ソロプチミスト会員の奉仕活動によって、「女性と女児が潜在能力を開花できるよう力を与える」という願いを果たすことが強調されました。初日の全体会では、29名の働く女性や生徒たちにWOA賞などの各賞が贈呈され、これらの賞と賞金を受け取ることがきっかけとなって、女性たちの能力発揮が実現し、夢が叶えられることを大会参加者は目の当たりにしました。また大会参加者は大きな感動を感じました。



2日目の六分科会では各テーマごとに熱心な討議が交わされ、その報告は各クラブの今後の活動に新たな視点と勇気、希望をもたらす有意義な機会になりました。

メンバーシップ委員会では、ソロプチミスト沖縄の金城幸子会員が報告者としてがんばりました。今大会の特筆すべきことは新クラブ(SI琉球一宜野湾)の設立に努めたSI琉球の喜場喜代子会長にスピーチ賞が贈呈され、会長はじめ私たち会員の更なる躍進につながる糧となりました。



## 2014年度 新春交流会 及び宮城聖子会員85歳生日祝い

1月16日(木)、那覇セントラルホテルで恒例の新春交流会を開きました。玉城節子会員のかぎやで風で始まった交流会は、新しい年を寿ぐ喜びと華やぎに満ちていました。今年は天真爛漫で存在感あふれる宮城聖子会員の85歳のお祝いも兼ねており、歌あり、踊りあり、ご馳走ありで大いに盛り上がりいました。聖子会員のお子さんたち(5名)が母に捧げた「オーオーオーマイマザー」の手紙のご披露は感動そのものでした。

人生の大先輩の幸せのおすそわけをいただいた温かい新春交流会でした。



元気溢れる宮城聖子会員

聖子会員を囲んで

